

徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録（七）

凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」「尾八」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」「尾四」は、昭和一〇年（一九三五）に財団法人尾張徳川黎明会現在の財団法人徳川黎明会によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」「尾八」は、その後当研究所において整理された文書群である。本号では「尾張徳川家文書目録」（七）として、「尾四」の文書群のうち、史料番号一一一～二八七までを収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、「尾二」「尾八」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④作成者（差出）、⑤形態・数量、⑥備考の六項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用したか、一部については、以前に当研究所において付された番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。なお、史料の配列や出納・閲覧の都合上、欠番号はそのままにしてある（本号の目録では、尾四―一九四、二一八、二五四、二七八が欠番号である）。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を（ ）付きで直後に示した（なお、内題と外題が同じ場合には、（ ）の表記は省略した）。

また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必要に応じて表題の前後に（ ）付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、（ ）を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、おおよその作成年代がわかる場合には、（安政年間）、（江戸末期）、（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。刊本・写本の場合は、その史料が刊行または、書写された時点の年次を表記し、刊本のうち、後印本であることが明らかな場合のものについては、初版年次に続いて（ ）付きで後印年次を記した。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」「縦・小」などと表記した。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付・絵図面および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など、必要と思われる事柄を＊印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・作成者・形態・備考（冒頭に※を付した）の順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場

合には、省略して表記している。

- 一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録掲載に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。内容調査、データ入力、および原稿化作業は、白根孝胤が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

代	諱	生没年月日	藩主就任期間	諡号 院号	実父 生母	正室(簾中) 継室
1	義直	慶長五年十一月二八日、 慶安三年五月七日	慶長一二年閏四月二六日、 慶安三年五月七日	敬公	徳川家康 御亀(相應院)	春姫(高原院、浅野幸長女)
2	光友	寛永二年七月二九日、 元禄一三年一〇月一六日	慶安三年六月二八日、 元禄六年四月二五日(隠居)	正公	義直 尉(歡喜院)	千代姫(靈仙院、徳川家光女)
3	綱誠	慶安五年八月二日、 元禄一二年六月五日	元禄六年四月二五日、 元禄一二年六月五日	誠公	光友 千代姫(靈仙院)	新君(磐珠院、広幡忠幸女)
4	吉通	元禄二年九月一七日、 正徳三年七月二六日	元禄一二年七月一一日、 正徳三年七月二六日	立公 円覚院	綱誠 下総(本寿院)	輔君(瑞祥院、九条輔美女)
5	五郎太	宝永八年一月九日、 正徳三年一〇月一八日	正徳三年八月二九日、 正徳三年一〇月一八日	達公 真巖院	吉通 輔君(瑞祥院)	安己君(光雲院、近衛家熙女)
6	継友	元禄五年二月八日、 享保一五年一月二七日	正徳三年一月一一日、 享保一五年一月二七日	曜公 晃禪院	綱誠 和泉(泉光院)	
7	宗春	元禄九年一〇月二六日、 明和元年一〇月八日	享保一五年一月二八日、 元文四年一月一三日(隠居)	退公 章善院	綱誠 梅津(宣揚院)	
8	宗勝	宝永二年六月二日、 宝暦一一年六月二四日	元文四年一月一三日、 宝暦一一年六月二四日	戴公 賢隆院	松平友著 繁(円珠院)	三姫(宝蓮院、徳川吉通女)
9	宗睦	享保一八年九月二〇日、 寛政一一年一二月二四日	宝暦一一年八月五日、 寛政一一年一二月二四日	明公 天祥院	宗勝 嘉代(英巖院)	好君(転陵院、近衛家久女)
10	斉朝	寛政五年八月二三日、 嘉永三年五月一三日	寛政一二年一月二九日、 文政一〇年八月一五日(隠居)	順公 天慈院	一橋治国 彰君(乘蓮院)	淑姫(清湛院、徳川家斉女)
11	斉温	文政二年五月二九日、 天保一〇年三月二六日	文政一〇年八月一五日、 天保一〇年三月二六日	僖公 良恭院	徳川家斉 瑠璃(青蓮院)	愛姫(琮樹院、田安斉匡女)
12	斉荘	文化七年六月一三日、 弘化二年七月二〇日	天保一〇年三月二六日、 弘化二年七月二〇日	懿公 大覚院	徳川家斉 蝶(速成院)	福君(俊恭院、鷹司政熙女)
13	慶臧	天保七年六月一五日、 嘉永二年五月七日	弘化二年八月二六日、 嘉永二年五月七日	欽公 顯曜院	田安斉匡 れい(青松院)	猶姫(貞慎院、田安斉匡女)
14	慶勝	文政七年三月一五日、 明治一六年八月一日	嘉永二年六月四日、 安政五年七月五日(隠居)	文公 賢徳院	松平義建 規姫(眞證院)	矩姫(貞徳院、丹羽長富女)
15	茂徳	天保二年五月二日、 明治一七年三月六日	安政五年七月五日、 文久三年九月一三日(隠居)	顯樹院	松平義建 みさを(陽清院)	政姫(崇松院、丹羽長富女)
16	義宜	安政五年五月二四日、 明治八年一二月二四日	文久三年九月一三日、 明治八年一二月二四日	靖公 隆徳院	慶勝 多満(禎正院)	

※「御家御統帳」「御日記」「御記録」「徳川林政史研究所所蔵」「尾張徳川家系譜」「名古屋叢書三編」第一巻より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。なお、一六代義宜は当主であつた期間を記す。

尾張徳川家文書目録(七)

番号表題

年月日

作成者(差出)

四

形態・数量

尾四一二 吉凶(取扱留)

(明治四年〜同五年)

(徳川家)

縦 一

*五六件を収録。巻頭に目次あり。虫損あり。

尾四一二 秋葉宮社御取建一卷

明治元年一月・同四年正月

取扱 相原七郎兵衛

縦 一

*[明治四年辛未正月 御庭秋葉宮取扱一件 社寺掛]を合綴。

尾四一二 御族中回章簿

(明治九年九月)

(徳川家)

縦 四

*別冊として手書きの目次あり。

第一冊 御族中回章簿(一)

(明治九年九月〜同一年一月)

*六四件で構成。巻頭に細目次の記載あり。中表紙には「明治九年九月に御宗族中回章簿」とあり。書状の貼り付けあり。徳川慶勝は第二部華族第二三類族長。

第二冊 (御族中回章簿二)

(明治九年一月〜同一年五月)

*一二二件を収録。書状の貼り付け、綴じ込みあり。葉書等の貼り付けあり。

第三冊 (御族中回章簿三)

(明治一〇年五月〜九月)

*九〇件を収録。書状の綴じ込みあり。葉書の貼り付け、綴じ込みあり。

第四冊 (御族中回章簿四)

(明治一〇年九月〜十二月)

*九九件を収録。書状の綴じ込み、括り付けあり。「華族学校親臨開業式」「官報」等も綴じ込まれている。

尾四一二 御族中回章返却綴込 但御請取共綴込

(明治一〇年一月・同一年一〇月)

徳川邸

縦 五

第一冊 御族中回章返却綴込(一) 但御請取共綴込

(明治一〇年一月〜三月)

徳川邸

*書状の綴じ込みあり。「本所徳川」の罫線を使用。

第二冊 (御族中回章返却綴込二)

(明治一〇年三月〜八月)

(徳川邸)

*書状の綴じ込み、貼り付けあり。

第三冊 (御族中回章返却綴込三)

(明治一〇年九月〜十二月)

(徳川邸)

*書状等の綴じ込みあり。

第四冊 (御族中回章返却綴込四)

(明治一一年一月〜五月)

(徳川邸)

*書状等の綴じ込みあり。

第五冊〔御族中回章返却綴込〕(五) (明治二十一年六月〜一〇月) (徳川邸)

※書状等の綴じ込みあり。

尾四―二五 松平頼聡殿回章綴込 (明治二十一年一〇月〜 同一年四月) (松平頼聡・家扶)

*中表紙には「松平頼聡殿々廻達留」とあり。貼紙に「御族中御回達留々抜取候分高松様々御帳戻り次第綴込可申事」とあり。書翰・葉書等の綴じ込みあり。

尾四―二六 御廻章戻綴込 (明治二十二年五月〜 同一年二月) 諸務課

*三六項目で構成。書翰の綴じ込み多数あり。手書きの細目を綴ったものあり。

尾四―二七 諸家回章等綴込 (明治五年四月〜 同一年一〇月) (徳川家)

第一冊 諸家回章等綴込〔諸家廻章綴込 壱〕 (明治五年四月〜 二月) (徳川家)

※中表紙に「諸向々之廻章等綴込」とあり。

第二冊 〔諸家回章綴込 貳〕 (明治六年一月〜 二月) (徳川家)

第三冊 〔諸家回章綴込 参〕 (明治七年一月〜 二月) (徳川家)

第四冊 〔諸家回章綴込 四〕 (明治八年一月〜 二月) (徳川家)

第五冊 〔諸家回章綴込 五〕 (明治九年一月〜 二月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、綴じ込みあり。葉書の綴じ込みあり。

第六冊 〔諸家回章綴込 六〕 (明治一〇年一月〜 同一年一〇月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、綴じ込みあり。葉書の綴じ込みあり。

尾四―二八 華族類別録 (明治九年二月・ 同一年一〇月) 徳川家

*「明治十一年十月編纂 華族類別録」を合綴。「華族類別新旧比較表」の挟み込みあり。

尾四―二九 (華族)大会館一巻 (明治七年一月〜 同一年九月) 用度掛

*手書きの細目次の冊子あり。

第一冊 (華族)大会館一巻 (二) (明治七年一月〜 五月) 用度掛

尾張徳川家文書目録(七)

番 号 表 題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

※華族大会館設立の主旨書、華族大会館仮規則等の記載あり。

第二冊 (華族大会館一卷二) (明治七年五月〜同八年一〇月) (用度掛)

※「在官見込書」「同意人名書」等あり。

第三冊 (華族大会館一卷三) (明治八年一〇月〜同九年一月) (用度掛)

※「第十部特撰議員事務条例」等あり。

第四冊 (華族大会館一卷四) (明治九年一月〜四月) (用度掛)

※「会館雑誌」「会館金銭出納略表」「職員會議条例」等あり。

第五冊 (華族大会館一卷五) (明治九年二月〜六月) (用度掛)

※「会館雑誌」「会館金銭出納略表」等あり。

第六冊 (華族大会館一卷六) (明治九年五月〜九月) (用度掛)

※「会館雑誌」「会館金銭出納略表」「華族貯蓄金結社条約」等の綴じ込みあり。

第七冊 (華族大会館一卷七) (明治九年一〇月〜同一〇年九月) (用度掛)

尾四―三 (華族会館) 集会記録 (明治七年三月〜七月) (徳川家)

*「華族大会館仮規則」等を記載。手書きの細目の綴が挟み込まれている。

尾四―三 明細分限帳 (明治五年) (徳川家)

*「一の家徒」「二の家徒」「当分御雇」「御内輪限二の家徒勤向」「二の家徒出仕」「家丁」「御内輪限家丁勤向」「当分御雇卒」「御雇卒」「御内輪限御雇卒」「諸隸」「御内輪限諸隸勤向」の項目で構成。

尾四―三 公用御用留 (明治三年〜同四年) (徳川家)

尾四―三 雑事御届留 他所状留共 (明治三年〜同四年) (徳川家)

*八九項目で構成。「明治三年年々 御届留 御慶事」を合綴。虫損あり。

尾四―三四 内家分限帳 (明治二年二月) (徳川家)

*家令・家扶頭取・家徒・内家属吏等の分限帳。

尾四―三五 職俸録 (明治初年) (徳川家)

*家扶・家扶次席・一の家徒・二の家徒・三の家徒・御雇・家丁・御使・女中向等の職俸記録。

縦 一

縦 一

縦 一

縦 一

縦 一

縦 一

尾四―三六

女中取扱留

第一冊 女中取扱留(二)

御屋形御用達

(慶応四年～明治四年)

御屋形御用達・(広敷)役懸

縦 二

第二冊

女中取扱留(二)

広(敷)役懸

(明治三年～同四年)

※「辰十二月 御充行半減等相成候付銘々之高朱書加へ置候事」「明治二年巳五月 貞慎院様・釧姫様女中御一新ニ付御人減伺 但調方等都 而新御殿ニ候事 御屋形従事務局」「諸渡物差図」「達」「手形」の項目あり。貞慎院は一二代当主徳川齊荘の御簾中。釧姫は齊荘の息女。
※表紙に「御比丘尼留とも」とあり。「明治三年御改革女中御充行渡方規則 御屋形内家局」「明治四年未二月より 勤御免女中并御比丘尼御免行渡り方達留 御比丘尼方役所」等あり。

尾四―三七

女中進退取扱留

(明治四年九月～

同九年三月)

二等家従

縦 一

*「明治四未年 女中御人減御暇一卷 附御比丘尼とも」あり。文書の括り付けあり。

尾四―三六

商業御廃取扱留

(明治四年～同五年)

〔徳川〕

縦 一

*「商業讓金請取帳」あり。書付の貼り付け、綴じ込みあり。

尾四―三六

日記言継帳

第一冊 日記言継帳(一)

(明治三年正月八日～二月二九日)

内家御作事掛

内家御作事掛・土木掛

縦 四

※名古屋の御屋形の修復・作事、庭の樹木の手入れ等に関する記録。

第二冊 日記言継帳(二)

(明治四年正月朔日～二月晦日)

(内家)御作事掛

第三冊 日記言継帳(三)

(明治五年正月元日～二月三〇日)

(内家)御作事掛

第四冊 日記言継帳(四)

(明治六年一月一日～二月三〇日)

土木掛

尾四―三六

(土木関連)日記

(明治七年～同八年)

土木掛

縦 一

尾四―三六

根極留

*「根極り」「年中行司」の項目で構成。

尾四―三六

御祭礼ニ付三之丸御厩御覧所御設方御用留

(明治三年四月・

同四年四月)

内家御作事掛

縦 一

*「明治三年四月 御祭礼ニ付三之丸御厩御覧所御設方入仕事割 内家御作事掛」(横半帳)を合綴。

尾四―三六

(東照宮)御祭礼ニ付御宮御補理御用留

(明治三年～同九年)

内家御作事掛

縦 一

尾張徳川家文書目録(七)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四―二五 根極(留)

(明治六年〜同二十四年)

御用部屋

縦 一

*「浅草瓦町御邸錠鍵番附絵図」「東京ノ方御尊靈御墓所」「家法條目」「職務章程」等あり。書狀の貼り付け、括り付け多数あり。

尾四―二五 新御邸地初民費論

(明治一〇年〜同十一年)

(徳川家)

縦 一

*「奥山御邸 明治五年以降民費御繰出方之儀」とあり。

尾四―二六 御音信留

(明治四年四月〜同九年十二月)

一等附

縦 四

第一冊 御音信留(一)

(明治四年四月〜同八年一月) 一等附

※寺社・華族・士族(旧臣)からの音信物を書き上げたもの。

第二冊 御音信留(二)

(明治八年一月〜同九年一〇月) (二等附)

第三冊 御音信留(三)

(明治四年四月〜同六年五月・同九年一〇月〜十二月)

(二等附)

第四冊 御音信留(四)

(明治六年五月〜同九年十二月) (二等附)

尾四―二七 御音進留

(明治一〇年〜同十一年)

家扶

縦 一

*「御到来物之儀御挨拶有無早見之為御挨拶可相成分ハ別部ニ誌置相済候境ハ朱書認為置可申候事」とあり。「被進被下ノ部」「御到来品部」「御到来品并御挨拶有之ヘキ分」の項目で構成。

尾四―二八 御音信(留)

(明治一二年〜同十三年)

(家扶)

縦 一

*「被進之部」「御到来」「御到来品御挨拶有之分」の項目で構成。

尾四―二九 御音信留

(明治一四年〜同十六年)

御家扶

縦 三

第一冊 御音信留(一)

明治一四年 御家扶

※「被進之部」「御到来」「御到来品御挨拶有之分」の項目で構成。

第二冊 御音信留(二)

明治一五年 御家扶

※「被進之部被下共」「御到来」「御到来品御挨拶有之分」の項目で構成。文書の挟み込みあり。

第三冊 御音信留(三)

明治一六年 御家扶

※「被進之部」「御到来」「御到来品御挨拶有之分」の項目で構成。

尾四―三〇 (御到来品等)音信帳

(明治一七年〜同二十二年)

家扶

縦 三

第一冊 音信帳(一)

明治一七年 家扶

※「御到来品之部」「被進被下ノ部」の項目で構成。
第二冊 御音信帳（二）（明治一八年～同二〇年） 御家扶

※「御到来品之部」「被進被下共」の項目で構成。書状・名刺（紙片）・封筒の挟み込みあり。
第三冊 音信帳（三）（明治二一年～同二三年） 家扶
※「入之部」と「出之部」の項目で構成。

尾四―四 音信留

第一冊 音信留（一）（明治二三年～同二四年）（家扶・役局）

※「有栖川宮」「御宗家様」「紀州様」「水戸様」「一橋様」「高須様」「九条様」「浅野様」「長州様」「高松様」「会津様」「桑名様」「丹羽様」「稲葉様」「成瀬様」「浜田様」「諸向」の項目で構成。

第二冊 御音信留（二）（明治二四年 役局）

※項目は第一冊とほぼ同じ。

尾四―四 音信帳

明治二五年 本所徳川

縦 一

※「有栖川宮」「御宗家」「紀州様」「水戸様」「一橋様」「田安様」「清水様」「高松様」「高須様」「長州様」「会津様」「桑名様」「稲葉様」「九条様」「近衛様」「浅野様」「成瀬様」「丹羽様」「諸向」の項目で構成。

尾四―四 音信簿

明治二六年（本所徳川）

縦 一

※「有栖川宮」「御宗家」「紀州様」「水戸様」「一橋様」「田安様」「清水様」「高松様」「高須様」「会津様」「桑名様」「稲葉様」「九条様」「近衛公」「成瀬殿」「浅野家」「丹羽様」「諸向」の項目で構成。

尾四―四 贈答簿

（明治二七年～同二八年） 東京庶務課

縦 二

第一冊 贈答簿（一）（明治二七年 東京庶務課）

※「御宗家」「紀州家」「水戸家」「高松家」「男爵家」「稲葉家」等の項目で構成。

第二冊 贈答簿（二）（明治二八年 東京庶務課）

※「有栖川宮」「御宗家」「紀州家」「水戸家」「桑名家」「高松家」「高須家」「男爵家」「稲葉家」「諸家」の項目で構成。葉書の挟み込みあり。

尾四―五 学資補助金一巻

（明治二一年二月～同二三年六月） 名古屋 徳川邸

縦 一

*一八代当主徳川義禮が資産で旧藩士族子弟の学資を補助した際の記録。

尾張徳川家文書目録（七）

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一四 学資補助金出納簿

(明治二年〜同五年)

名古屋 徳川邸

縦 一

*「請入」「支出」「雜費金出納」「仮払」「取替払」の項目で構成。

尾四一四 学資補助金月計簿

(明治二年〜同三年)

名古屋 徳川邸

縦 一

尾四一四 学資補助金願書郡区役所江送附人名簿

(明治二年〜同四年)

徳川邸

縦 一

*「区ノ部」「郡ノ部」の項目あり。

尾四一四 学資御補助願書(綴)

(明治二年〜同五年)

徳川家

縦 五

第一冊 学資御補助願書(綴一)

明治二年

徳川家

第二冊 学資御補助願書(綴二)

(明治二年〜同三年)

徳川家

第三冊 学資御補助願書(綴三)

明治三年

徳川家

※徳川義禮殿御家令宛の願書を多数綴っている。

第四冊 学資御補助願書(綴四)

明治四年

徳川家

第五冊 学資御補助願書(綴五)

明治五年

徳川家

※「特別補助ヲ要スル見込ノ分 学資補助願書 東春日井郡」とあり。一部虫損。

尾四一五 転校退校届書綴

(明治四年〜同五年)

徳川邸

縦 一

*「授業料補助御解免願」「退校ニ付御補助証返還御届」「転校届」「御補助証返納御届」等を綴じ込んでいる。

尾四一五 日光山救助願一件書

(明治二年〜同三年)

(徳川家)

縦 一

*日光山および東照宮の存続を図るための徳川宗家・御三家・一門における援助に関する歎願書等を書き留めたもの。

尾四一五 (御家禄・内家向等)内密調

(明治二年〜同四年)

会計方

縦 一

*「御家禄調之事」から「会計元帳東京移方御見合五節句毎之出入之訳通用方之事」まで一六五項目で構成。書翰の貼り付け、綴じ込みあり。

尾四一五 世襲財産官報抜粹

(明治一九年〜同二年)

(華族)↓華族局・爵位局

縦 一

尾四一五 元御広敷取扱之分御勘定納払記 附臨時金等上納

明治六年一〇月三〇日

加藤菊太郎 他一名

縦 一

*「御勘定仕上ヶ記」「壬申年 御方々様地並御入用納払」等を書き上げたもの。

尾四一五 広口御払物帳

明治五年五月

(徳川家)

縦 一

*書付の挟み込みあり。

尾四一五 御音信手形(綴)

明治三年

新御殿内家局・内家局御役所

縦

*各商人からの請取状等を綴じ込んだもの。「明治三年午六月廿五日 人足賃覚帳 名古屋藩水野兵吉」(横帳)の綴じ込みあり。

尾四一五 御入用下払帳

明治四年

家従

縦

*「御本間」「橘御間」「松御間」「福印」「寿印」「菊印」「長印」「地並」「口帳」「消込口」の項目ごとに御入用の支払を書き留めたもの。

尾四一五 御側御入用帳 御既御入用帳共

(明治三年～同五年)

家従

縦

*「元入」「払」「取替ノ部」等の項目あり。「明治三年午六月 御既御入用帳 御既懸」あり。

尾四一五 御既御入用御勘定帳

(明治四年～同五年)

(御既懸り)

縦

*毎月の「御馬小買物代等御勘定帳 御既懸」あり。

尾四一六 御両所様指上金(留帳)

(明治四年～同五年)

二等家従

縦

*「明治四年未十一月 献上金 古渡町」「明治四辛未年 御東行境ヨリ 従三位様御手許金 家従」「壬申正月 差上物帳被下物共 役懸り」等あり。

尾四一六 現金払町人御用代渡判帳

明治四年

東御屋敷 内家局

縦

*「柏(現金払)」「地並(現金払)」「宝(現金払)」「定例(別段炭油等現金払)」「別段(御入用払)」の項目で構成。

尾四一六 御増益金口・同別段口・御内々口・戸山御内々口・町人

(明治四年二月～同五年)

役懸り

縦

年賦・寺社利金口・御払惣代口・御囲金利金 御囲金江納帳

尾四一六 道姫様御鉄漿初之御簾当已年夏御召服類出来(道姫様御

(明治二年～同五年)

(家従)

縦

簾御召類御出来)

*書付三通の挟み込みあり。道姫は一四代および一七代当主徳川慶勝の三女。

尾四一六 釧姫様御入用御勘定帳下調

(明治二年～同三年)

(長野善太郎・藤井左織・佐々木孫兵衛)↓
(会計局)

縦

*「御側」「側慰」「御初尾」「御召服」「雅用被下」「日雇」「小払」「小買物」「町人払」の項目で構成。釧姫は二代当主徳川斉荘の四女。

尾四一六 釣姫様御婚禮御勘定帳

明治四年

(永田益衛)↓出納方

縦

*釣姫は二代当主徳川斉荘の四女(釧姫)。

尾四一六 宝婚別当金払手形(留帳)

(明治二年～同五年)

(徳川家)

縦

尾張徳川家文書目録(七)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一六

貞慎院様御在世之節御上京御用意并於道様・於豊様御初御上京に付諸色御買上御勘定帳(貞慎院様御上京并於道様・於豊様御初御上京に付諸色御買上勘定帳)

明治五年

(徳川家)

縦 一

*「御方々様御上京当地御引払大奥御道具類東京廻シ船運賃等御入用御勘定帳」「貞慎院様御附女中御暇ニ付東京・静岡江送り届并山路初御用済ニ付木曾路東京江為御差登御入用御勘定帳」「女中旅籠帳」等あり。貞慎院は二代当主徳川斉荘の御簾中猶姫のこと。於道様は一四代および一七代当主徳川慶勝の二女。於豊様は慶勝の四女。

尾四一六

小払帳

明治六年

出納懸

縦 一

尾四一六

当分手形抜帳

明治四年

会計方(徳川)

縦 一

尾四一七

御入用金払判帳

明治四年

東御屋敷 内家局

縦 一

*「柏御間」「地並」「宝印」「炭油」「口帳」「消込」の項目で構成。

尾四一七

内家御入用金諸払帳

(明治三年九月)

(徳川家)

縦 一

同四年八月

尾四一七

御側御入用帳

(明治五年正月)

用度懸(徳川)

縦 一

同六年四月

尾四一七

金禄公債証書伊藤・関戸江貸渡一卷

(明治一三年)同一年

徳川邸

縦 一

*「金禄公債証書記番号人名簿 関戸渡分 伊藤渡分」「明治十五年十一月 伊藤・関戸江貸渡公債証書 利子冥加金調帳 徳川邸」「明治十七年三月ヨリ諸公債証書預ケ明細簿 徳川義禮家扶」等あり。一部虫損。

尾四一七

金銀請払負帳割判留

(明治二年)同四年

御勝手方 御勘定所

縦 一

*「御払金」「修理料金」「至誠献金」「兵賦役除金」の項目あり。

尾四一七

米金渡方根達(留)

(明治二年)同四年

会計懸

縦 一

*中表紙に「内家御扶助達綴 但渡り方根達共 会計方」とあり。「貞慎院様御附女中御宛行規則」「釣姫様御附女中御宛行規則」等の項目あり。書付の貼り付け多数あり。

尾四一七

御金渡方達綴込

(明治二年)同四年

会計懸

縦 一

*書付の貼り付け多数あり。

尾四一七 御方々様地並御入用御勘定帳 (明治五年) (徳川家) 縦

*「本」「橘」「柏」「松」「福」「寿」「菊」「長」「地」「口」の項目あり。「柏当銀手形」をはじめ、御印ごとの手形を記載している。

尾四一八 松間御東行当金払手形(留) 明治四年 (徳川) 縦

尾四一九 明治六年 奥方御上京御入用御勘定帳 (明治四年〜同五年) (徳川) 縦

尾四二〇 会計御用留 明治四年 (会計懸) 縦

*「官禄相立之儀」に関する書付七通の括り付けあり。

尾四二一 別段入用済口留 (明治三年〜同五年) 会計懸 縦

*「別段御入用御勘定帳等綴込」「明治三年 従三位様御帶御腰物御拵を初別段御入用御勘定帳 御腰物懸り」「明治三年 貞慎院様・鈞姫様熱田井建中寺・長栄寺江御参詣御入用御勘定帳」「明治三年 九月 従一位様御東下御入用御勘定帳 家扶頭取」等あり。

尾四二二 金銀根達綴込 (明治四年〜同六年) 会計懸 縦

尾四二三 従一位様・従三位様御側御入用御勘定目録 明治三年 (徳川) 縦

*従一位様は徳川慶勝、従三位様は慶勝の子で一六代当主徳川義宣のこと。

尾四二四 御側御入用御勘定帳 明治四年 (徳川) 縦

尾四二五 張懸答頭書帳 (明治三年〜同四年) 会計懸 縦

尾四二六 御渡物頭書日記 (明治三年〜同四年) 会計掛(懸) 縦

*中表紙には「壬三月廿九日 御渡物日記頭書 会計懸」とあり。

尾四二七 当分手形留 (明治四年〜同五年) 会計科 縦

尾四二八 歳勘定調(帳) (明治三年〜同五年) 会計懸 縦

*「明治三年 御茶道掛り御不断御用諸色代初品々御入用御勘定帳 御膳所掛り 一の家従」「明治三年 中 御比丘尼方役所諸色代御入用御勘定帳 御比丘尼懸り家丁」「明治四年 従一位様御入用御勘定帳」「明治四年 奥方様御入用御勘定帳」「明治五年 去未年中御腕御入用御勘定帳」等あり。

尾四二九 旧藩士族金禄公債証書御預一卷 (明治一年〜同一年) 徳川邸 縦

*「明治十一年十月 旧藩士族金禄公債証書御預約定書 徳川邸」「旧藩士族御預金禄公債証書番号地」等あり。書翰の貼り付け、封筒の挟み込みあり。

尾四三〇 公債証書番号誌 銀行株券 (明治九年〜同二〇年) 徳川邸 縦

尾張徳川家文書目録(七)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

*「秩禄公債証書之部」「旧公債証書之部」「金札引換公債証書之部」「整理公債」「起業公債証書之部」「西古渡口公債」「船方新田口公債」「熱田大宮江御寄附口公債」「御手元金口公債」「第百三拾四銀行株券之部」「第十一銀行株券之部」「公債抵当貸金之部」「銀行株券抵当貸金之部」「社寺預り金ニ而買入金禄鉄道公債証書之部」「社寺預り金ニ而起業公債証書之部」「社寺預り金ニ而銀行株之部」「社寺御預り旧公債配当番号」「社寺旧公債証書初預り根帳」「社寺口々残金仮払口」「社寺御預り金高」「社寺口金禄公債証書買入内訳」「公債利子毎季口々仕訳」の項目で構成。

尾四一五 御金払判帳

(明治二年〜同五年)

御年貢地掛

縦 一

尾四一六 金銀出納記

第一冊 金銀出納記(一) (明治二年〜同八年)

徳川邸

徳川邸

縦 二

※書付の貼り付け、括り付けあり。

第二冊 金銀出納記(二) (明治九年〜同十二年)

徳川邸

尾四一七 明治廿六年度 震災費受払帳

明治二六年

會計掛

縦 一

尾四一八 為換受払簿 移転費トモ

(明治二年七月、同四年八月)

徳川邸

縦 一

*「受入為換」「為換」「移転費」の項目で構成。

尾四一九 俸給簿

明治二七年一月

徳川

縦 一

*「本邸俸給」「俸給女子ノ部」「俸給東京在勤」「俸給東京在勤女中ノ部」「本邸傭給」「傭給女子ノ部」「傭給壽邸付」の項目で構成。

尾四二〇 当座取替払簿

第一冊 当座取替払簿(一) (明治一四年〜同二六年)

御家扶

御家扶

縦 二

※「為換」「社寺」「道徳(前新田)」「飛鳥(新田)」「稻荷(新田)」「繰出(新田)」「南柴田(新田)」「大田村」「大府村」「雑之部」「月締」の項目で構成。

第二冊 当座取替払簿(二)

(明治一四年〜同二六年)

御家扶

※「受入為換」「払為換」「社寺」「道徳」「飛鳥」「稻荷」「大符」「大里」「雑之部」の項目で構成。

尾四二一 諸口金圓渡判帳

(明治二年七月、同四年一月)

徳川邸

縦 三

第一冊 諸口金圓渡判帳(一)

(明治二年七月〜同五年二月)

(徳川邸)

第二冊 諸口金圓渡判帳(二)

(明治一六年一月〜同一八年六月)

徳川邸

尾四一〇九 月給金渡判帳

第三冊 諸口金圓渡判帳 (三) (明治一八年七月〜同二四年一月) 徳川邸

徳川邸 出納課

縦 二

第一冊 月給金渡判帳 (一) (明治五年〜同二三年) 出納懸

※月毎に月給金渡帳あり。書付の挟み込みあり。一部剥離注意。

第二冊 月給金渡判帳 (二) (明治二四年〜同二六年) 徳川邸 出納課

尾四一〇〇 諸金台帳

第一冊 諸金台帳 (一) (明治二年〜同二三年) 徳川邸

※「当用口」「收納」「家税」「雜納」「月々」「予備金」「返納」「利子」「払物代」「旧藩御救助口」「北海道口」の項目で構成。「諸金支払帳 徳川邸」を合綴。

第二冊 諸金台帳 (二) 明治一四年 徳川邸

※項目は第一冊と同じ。「諸金支払帳 徳川邸」を合綴。

第三冊 諸金台帳 (三) 明治一五年 奥山町 御家扶

※項目は第一冊と同じ。「諸金支払帳 奥山町 御家扶」を合綴。

第四冊 諸金台帳 (四) 明治一六年 御家扶

※項目は第一冊と同じ。「諸金支払帳 御家扶」を合綴。

第五冊 諸金台帳 (五) (明治一七年一月〜六月) 御家扶

※項目は第一冊と同じ。「諸金支払帳 御家扶」を合綴。

第六冊 諸金台帳 (六) (明治一七年七月〜同二八年六月) 御家扶

※項目は第一冊と同じ。「諸金支払帳 御家扶」を合綴。

第七冊 諸金台帳 (七) (明治一八年〜同二九年) 御家扶

※「当用金」「收納」「雜納」「月締」「予備金」「返納」「利子」「雜納」「払物代」「北海道金」の項目で構成。

尾四一〇一 追算簿

(明治二四年七月〜同二六年六月) 名古屋徳川邸 会計懸

縦 一

*「受入為換」「払之部」の項目で構成。

尾四一〇三 出納現金簿

第一冊 出納現金簿 (一) (明治二四年一月〜二月) 徳川邸

(明治二四年二月〜同二六年二月) 徳川邸

縦 三

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

※「収入之部」「支払ノ部」「新築費元受之部」「新築費支払」「銀行預ケ出入」の項目で構成。

第二冊 現金出納簿(二) (明治五年一月〜二月) 徳川邸

※「収入之部」「支払之部」「銀行預ケ金之部」「借入金之部」の項目で構成。

第三冊 現金出納簿(三) (明治六年一月〜二月) 徳川邸

※「収入之部」「支払之部」「銀行之部」「当分借入之部」「東(於登代様御滞在費仮払)」「東御手元(於登代様御手元払之分取替払)」「御手元」「菊印」「仮払取換之部」の項目で構成。二十六年十二月十六日より現金出納簿會計掛の挟み込みあり。

尾四―三三 明治十四年調 証券類根帳

(文政四年〜明治十九年) 徳川邸

縦 一

*「地所買入証之類」「御指令之類」「貸金」「雑之部 保護預り書之類」の項目で構成。書付の挟み込みあり。一部虫損。

尾四―三四 諸金仕払帳

(明治一八年七月、同二二年八月) 御家扶

縦 二

第一冊 諸金仕払帳(一) (明治一八年七月〜同一九年八月) 御家扶

※当用金の部「公納」「社寺」「土木」「営繕」「俸給」「備給」「賜与」「贈答費」「当用費」「郡区費」「旅費」「臨時費」「月締」「予備金の部」「貸下」「臨時費」「有用費」「利子」「東京廻」「就産寄納」「交際費」「月締」「北海道口」「荷物運漕」「旅費」「雜費」「為換」「月締」の項目で構成。

第二冊 諸金仕払帳(帳)(二) (明治二二年七月〜同二二年六月) 御家扶

尾四―三五 当用金出納簿

(明治一一年一月、同二二年二月) 徳川邸

縦 一

*「第十一国立銀行 利子金出納帳」等あり。「明治十一稔ヨリ 予備金出納簿 徳川邸」を合綴。

尾四―三六 現金出納精算月々残金調帳

(明治三三年二月、同二六年二月) 出納掛

縦 一

*「社寺金之部」「葬費之部」「予備金之部」等の項目あり。

尾四―三七 會計書類(綴)

(明治一〇年〜同一九年) 奥山町 徳川邸

縦 一

*中表紙に「會計書類綴 文通共」とあり。「十五年六月已後為換金決算之儀回答旁照会之事」から「御両所様御出果精算之事」まで全二四〇項目の細目あり。書状の貼り付け、綴じ込み多数あり。

尾四―三八 横網町御邸営繕積書入札綴

(明治一一年〜同二二年) 横網町御邸 営繕掛

縦 二

第一冊 横網町御邸宮繕積書入札綴(一) (明治二年〜同二年) 横網町御邸 宮繕掛
第二冊 横網町御邸宮繕積書入札綴(二) (明治二年〜同二年) (宮繕掛)

※「左官方」「建具方」「表具師方」「石工方」「瓦師方」「葺師方」「畳屋方」「桶師・井戸堀方」「塗師方」「飭師方」「葺方・土方」「植木屋・庭師」「雑之部」の項目で構成。

尾四―三九 地別御入用金根達請取手形留 御払物上納方根達共 (明治三年〜同五年) (徳川) 縦 一

*「御金根達」「東御屋敷別段手形」「御模様替別口」「地並手形」「風破別段手形」「御引移別段」「別段雑手形」「申年御金達手形留」「御払物上納方達」の項目で構成。

尾四―三〇 (御金払帳・御入用金払判帳・土木御入用金払判帳) (明治三年〜同二年) 御作事懸り・土木掛 縦 六

第一冊 御金払帳 (明治三年〜同四年) 御作事懸り

※「東(御屋敷)」「地並」「風破」「御引移別段」「未年風破」「跡別段口」「御引払別段」「修理料金口」「代取払」の項目で構成。

第二冊 地並御金払帳 明治五年 御作事掛

※「別段御金払口」「社寺金払口」「代取金払口」の項目あり。

第三冊 御入用御金払判帳(一) 明治六年 土木掛

※書付の括り付けあり。

第四冊 御入用御金払判帳(二) 明治七年 土木掛

第五冊 御入用御金払判帳(三) 明治八年 土木掛

第六冊 土木御入用御金払判帳 (明治九年〜同十二年) (土木掛)

※「雑払判帳」の項目あり。

尾四―三二 (貞慎院様御逝去ニ付御入用金等留帳) 明治五年 土木掛(方) 縦 一

*貞慎院は二代当主徳川齊荘の御簾中。

尾四―三三 貞慎院様御卒去御入用御勘定帳 明治五年 (徳川) 縦 一

*「柏印別段御入用帳」「御事柄ニ付町人払手形(帳)」等の項目あり。

尾四―三三 御事柄御入用金納払帳 (明治初年) (徳川) 縦 一

尾四―三四 今般御用諸色買上帳 明治五年 内家土木掛(徳川) 縦 一

尾四―三五 (今般御用出来物等頭書・御事柄御用留) 明治五年 内家土木掛(徳川) 縦 一

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

*「今般御用出来物等頭書」「申二月今般御用出来物廻し帳」「今般御用入札綴」「申二月御事柄御用留」等あり。「三月十日御出棺御送葬御次第書」「貞慎院様御遺体御出棺(次第書)」の綴じ込みあり。

尾四―三六 今般御用入札調下井不用入札(留) 人別共

(明治五年)

内家土木掛(徳川)

縦 一

尾四―三七 御預り物覚

(明治三年〜同四年)

御音信懸(徳川)

縦 一

尾四―三九 (御小座敷初御引建方)入札綴

明治四年

御作事掛

縦 一

*中表紙に「明治四末年 御小座敷初御引建方入札綴 地並とも」とあり。「大工之部」「左官之部」「張付飾之部」「葺飾之部」「飭師方」「井戸堀之部」「石工之部」「桶師之部」「畳屋之部」「雑之部」「当座吟味積書之部」「雑之部」の項目で構成。

尾四―三〇 新御邸御払物入札落札書取

(明治七年〜同九年)

土木掛(徳川)

縦 一

尾四―三一 震災費帳

*「元受之部」「支出之部」「御財産取調ニ付諸費」の項目あり。

(明治二年〜同五年)

徳川邸

縦 一

尾四―三二 御払物入札落札書取

第一冊 未年御払物入札落札書取

(明治四年)

内家土木掛

内家土木掛

縦 二

※「下御庭百間角場打小屋杓棟分御払入札落直段書取」「明治四年未六月 南御門内 古木類御払物帳」「御城御建家初入札落直段書取」等の項目あり。

第二冊 申年ヨリ御払物入札落札書取

(明治五年)

内家土木掛

※「三之丸」西御邸「御霊屋」「下御庭」「雑之部」「東御邸之部」の項目で構成。

尾四―三三 御修復向等入札綴

*書付の挟み込み、綴じ込みあり。

明治六年

土木掛(徳川)

縦 一

尾四―三三 正御入用留 御入用積并添達とも

*主として「新御殿を初地並御修復御入用月勘定帳」を月毎に記載している。

明治三年

内家御作事掛

縦 一

尾四―三四 御払物代上納帳

*「三之丸」西御邸「東御邸」「雑之部」「下御庭御茶屋(向御払代上納口)」「三之丸御霊屋」「建中寺御払物」「新御邸口」「御鷹部屋」「元成瀬邸」「相應寺」「御旅所(建物御払代上納口)」「御下邸(建家初御払代上納口)」「不動堂」「金毘羅社」「(白鳥)御船蔵(構内土蔵等御払口)」の項目で構成。

(明治五年〜同八年)

土木掛(徳川)

縦 一

尾四―三五 御払物帳

第一冊 御払物帳(一) (明治三年) 内家御作事掛 (明治三年～同五年)

縦 二

※「建家類御払之部」「古木類御払之部」「寄木破御払之部」「鋸屑柿古板類御払之部」「雑之部」「代取之部」の項目で構成。

第二冊 御払物帳(二) (明治四年～同五年) 内家御作事掛

※「寄木破割出し」「鋸屑(割出し)」「古板束」「他向御払口」「御膳所渡」「役懸渡」「御廐渡」「雑之部」と明治五年分の「御払物入札之部」の項目で構成。

尾四―三六 三之丸御宮舞樂之節入人仕事留

* 同内容の控帳あり。「明治三年午四月 三之丸御宮舞樂之節買上物判帳 御作事掛」を合綴。

御作事掛(徳川)

横 一

尾四―三七 御修復達綴

* 中表紙に「諸達等之儀御見分済之上綴入候筈之事」とあり。主として御霊屋・寺社の修復に関する書類を綴ったもの。「午九月 風破ヶ所書拔」あり。書付の挟み込み、貼り付け多数あり。

(明治三年)

内家御作事掛(徳川)

縦 一

尾四―三八 差掛仕事留

* 名古屋城御殿の修復箇所を書き上げたもの。

(明治三年正月～閏一〇月)

内家御作事掛(徳川)

縦 一

尾四―三九 仕出シ綴込簿

* 瓦町御邸・押上御邸等の修復に関する書類。書翰等の綴じ込み多数あり。

(明治一二年～同一三年)

庶務課

縦 一

尾四―四〇 東西京旅行御手当渡り方之事

* 書翰等の貼り付け多数あり。

(明治三年～同四年)

(徳川)

縦 一

尾四―四一 従三位様御上京御道中御勘定帳

* 「明治四年末九月 御休ニ付被下金請取帳 佐竹吉右衛門 丹羽鎌三郎(横帳)の綴じ込みあり。従三位様は一六代当主徳川義宜のこと。

(明治四年～同五年)

(徳川)

縦 一

尾四―四二 女中向船手方社寺方預金大藏省江御屈写一卷

(元治元年～明治六年)

引請 土族 古渡清(徳川)

縦 一

尾四―四三 社寺御入用納払帳

(明治五年～同六年)

(徳川)

縦 一

尾四―四四 金七千両口納払帳

(明治四年～同五年)

社寺懸家扶(徳川)

縦 一

尾四―四五 壬申正月ヨリ 御払物代寄金(帳)

* 三之丸御霊屋跡立木御払入札等の記載あり。

明治五年

社寺懸り(徳川)

縦 一

番号表題	年月日	作成者(差出)	形態・数量
尾四―三六 御入用金諸払帳	(明治二年～同六年)	社寺掛(徳川)	縦 一
*「請取元」「御備金」「被下金」「町人払」「御宮修理金」の項目で構成。			
尾四―三七 御庭三社稻荷御備金納払帳	(慶応四年～明治五年)	御屋形御用達(徳川)	横・小 一
尾四―三八 御暇女中東京宿許初夫々江送り届御入用御勘定帳	(明治四年～同六年)	(徳川)	縦 一
尾四―三九 新御屋敷初御修復地並御用御金納払帳	明治四年	(徳川)	縦 二
第一冊 新御屋敷初御修復地並御用御金納払帳 (二)	明治四年	(徳川)	
第二冊 新御屋敷初御修復地並御用御金納払帳 (二)	明治四年	(徳川)	
尾四―四〇 〔御既御入用勘定帳〕	(明治三年～同四年)	(徳川)(御既懸り)	縦 一
尾四―四一 従三位様初御方々御入用御勘定帳	(明治三年～同四年)	(徳川)	縦 一
*従三位様(徳川義宣)の他、従一位様(徳川慶勝)・貞慎院・奥方様・清月院・於道様・於登代様・於良様の御入用御勘定帳、および「新御屋敷地並御入用御勘定帳」あり。			
尾四―四二 定光寺源敬様御位牌所御建直方出来正御入用留	明治六年一月	(徳川)(土木掛)	縦 一
*源敬様は初代当主徳川義直(家康九男)のこと。			
尾四―四三 御払金手形(留)	(明治五年二月～一月)	土木掛(徳川)	縦 二
第一冊 御払金手形(留)〔上〕	(明治五年二月～五月)	土木掛(徳川)	
※書付等の挟み込み、綴じ込み多数あり。			
第二冊 御払金手形(留)〔下〕	(明治五年六月～十一月)	土木掛(徳川)	
※書付等の挟み込み、綴じ込み多数あり。			
尾四―四四 御払物入札綴	(明治四年～同五年)	内家土木掛	縦 二
第一冊 御払物入札綴 (二)	明治四年	内家土木掛	
※名古屋城御殿の御払物入札。書付の挟み込みあり。			
第二冊 御払物入札綴 (二)	明治五年	内家土木掛	
※書付の綴じ込みあり。			

尾四―四 正御入用留

(明治五年―同六年)

〔徳川〕(土木掛)

*地並土木御入用金請取高等を書き上げたもの。

尾四―四 明治元辰年 越後戦争之図

明治元年(慶応四年)

新御殿御小納戸頭取

*袋二枚あり。袋上書「明治元辰年 越後戦争之図 拾壹枚 北美濃辺之図 壹枚」。

① 慶応四戊辰五月十日ハツ半時ヨリ同十九日迄戦争之図 (慶応四年五月一〇日―一九日)

※法量三八・五cm×二三・八・五cm。彩色あり。

② (越後戦争之図 官軍配置図) (慶応四年)

※法量六六・〇cm×八二・〇cm。

③ 閏四月廿六日雪峠戦争略図 (慶応四年閏四月二六日)

※法量二七・六cm×三九・〇cm。彩色あり。

④ 閏四月廿七日鯨波戦争(図) (慶応四年閏四月二七日)

※法量二七・六cm×三九・〇cm。彩色あり。

⑤ 戊辰五月三日片貝鴻巣兩村戦争略図 (慶応四年五月三日)

※法量二七・六cm×三九・〇cm。彩色あり。

⑥ 加州一手ノ戦争五月五日戦争略図 (慶応四年五月五日)

※法量三八・八cm×五四・六cm。

⑦ 戊辰五月十四日大崎石地兩村戦争官軍大勝利之図 (慶応四年五月一四日)

※法量二七・六cm×三九・〇cm。彩色あり。

⑧ 慶応四年五月十九日朝五ツ時落城其節味方之進軍之次第如図 (慶応四年五月一九日)

※法量三八・八cm×八一・五cm。彩色あり。

⑨ 五月廿八日鳴崎北野戦争之図 (慶応四年五月二八日)

※法量二八・一cm×三九・一cm。彩色あり。

⑩ 六月二日猫小屋中野寫今町村等戦争図略 (慶応四年六月二日)

※法量五四・二cm×六五・〇cm。彩色あり。

⑪ 六月廿一日夜九ツ時ヲ戦争之始リ翌廿二日九ツ時迄烈戦之略図 (慶応四年六月二日)

※法量二七・六cm×三九・〇cm。彩色あり。

尾四―四 北美濃辺之図

明治元年一二月

新御殿御小納戸頭取

*法量五五・三cm×一一・九・〇cm。彩色あり。尾四―四の図面と一緒の袋に入っている。

尾張徳川家文書目録(七)

縦 一
鋪 一

鋪 一

番号表題

年月日

作成者(差出)

尾四一三〇 明治八乙亥年一月新調宗像神社境内之図

明治八年一月

(徳川家)

*法量五九・〇cm×一〇九・一cm。彩色あり。「六分壹間之割」とあり。

尾四一三六 (今般御用図面)

(明治五年)申二月

(徳川家)

*袋あり。袋の上書「申二月今般御用図面入」。

① 御廟之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二八・三cm×四〇・八cm。源懿様(二二代当主徳川斉荘)御廟の図面。

② 御石碑之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・六cm×四一・六cm。

③ 御壙之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三四・八cm。

④ 今般御白與之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三四・七cm。

⑤ 御白與之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二八・三cm×四〇・六cm。

⑥ 不用御壙之図控 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三四・八cm。

⑦ 御與平之図 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三一・七cm。

⑧ 御與妻之図 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三三・〇cm。

⑨ 御外柳之図 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×一一・五cm。

⑩ 御仮屋地図 (明治五年)申二月 (徳川家)

※法量二四・七cm×三四・五cm。

尾四一三六

(貞慎院様御墓誌并源懿様御廟図等綴)

(明治五年)

(徳川家)

*袋あり。袋の上書「貞慎院様御墓誌 壹枚 外ニ書類巻冊添」とあり。源懿様は二二代当主徳川斉荘、貞慎院様は斉荘の御簾中。

形態・数量

鋪 一

鋪 一〇

尾四―三五 (相応寺御葬地御廟所之図)

(明治三〇年二月)

(徳川家)

鋪

一

* 法量三七・七cm×四九・二cm。端裏書「御葬地 御廟所」。袋あり。袋の上書「二 御葬地」、裏に「明治三十年二月調 古書類之内」とあり。

尾四―三五 御払物入札綴

(明治五年)

土木掛(徳川)

綴

一

*「御払入札(綴)」「横帳」「入札 木端御払」「入札之覚(いづれも縦帳)等が綴じ込まれている。

尾四―三五 御当用請取綴

(明治六年〜同九年)

徳川邸

縦

一

尾四―三五 請取証書綴

第一冊 請取証綴(一)

(明治一〇年〜同十二年)

徳川邸

縦

二

※主として名古屋徳川新御邸宛の請取証を綴ったもの。

第二冊 請取証書綴(二)

(明治十二年)

(徳川邸)

徳川邸

尾四―三五 (請取証綴)

(明治十三年〜同十二年六月)

徳川邸 御家族

縦

九

第一冊 請取証(綴一)

明治十三年

徳川邸

※地租等の請取証を綴ったもの。

第二冊 請取証(綴二)

明治十四年

徳川邸

第三冊 請取証(綴三)

明治十五年

徳川邸

※書付一通挟み込みあり。

第四冊 請取証(綴四)

(明治十五年〜同十六年)

御家扶

第五冊 受領証(綴五)

(明治十七年一月〜六月)

御家扶

第六冊 受取証(綴六)

(明治十七年七月〜同十八年八月)

御家扶

第七冊 受取証(綴七)

(明治十八年七月〜同十九年八月)

御家扶

※地租割税・畑税の受取証多数あり。

第八冊 受取証(綴八)

(明治十九年七月〜同二十年八月)

徳川邸

第九冊 受取証(綴九)

(明治二十年七月〜同二十二年八月)

徳川邸

尾四―三五 葬費請求書領収書綴

(明治二十四年〜同二十九年)

徳川邸

縦

一

*旧藩士の葬費援助に関する書類。

尾四―三五 雑書綴

(明治三十五年〜同三十七年)

會計掛

縦

一

尾張徳川家文書目録(七)

番 号 表 題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

*「金銭借用帳」等の綴じ込みあり。

尾四一三五 受取証綴

(明治三年〜同四年)

徳川邸

縦 一

尾四一三五 正五位様御来縣受取証綴

明治二年

徳川邸

縦 一

*正五位様は一八代当主徳川義禮のこと。

尾四一三六 当座取替払 請取証綴

(明治一年〜同四年)

徳川邸

縦 一

尾四一三六 当座取替請取証(綴)

明治五年

奥山町 御家従

縦 一

尾四一三三 納証綴

(明治四年〜同六年)

出納掛(名古屋徳川邸)

縦・小 一

尾四一三三 社寺金受取綴

(明治六年〜同二〇年)

奥山町 御家従

縦 一

尾四一三六 (本納金銀日記)

明治三年

(徳川)

縦 二

第一冊 (本納金銀日記(支払帳)上)

(明治三年一月〜七月)

(徳川)

第二冊 (本納金銀日記下)

(明治三年七月〜二月)

(徳川)

尾四一三五 東京横網越御書齋御建築書類

(明治二八年〜同二九年)

(徳川)

縦 一

*書付の挟み込みあり。巻末に図面の綴じ込みあり。

尾四一三六 諸拝借被下捨置一卷

明治六年一〇月

(家従)

縦 一

尾四一三六 (明治十年 御天守古金銀之議一卷)

(明治一一年二月二五日)

(徳川家)

縦 一

尾四一三六 東照宮万人講寄附金簿

(明治一四年〜同二〇年)

徳川邸

縦 一

尾四一三六 (明治十年 東照宮正遷宮其他同社関係一卷)

(明治六年〜同一〇年)

(徳川家)

綴 一

*「明治十年丁丑五月念八日 東照宮正遷宮御行列附」(横帳)、「願書」(縦帳)等を綴っている。

尾四一三七 万松寺一件(萬松寺移転ニ関スル一件書類)

(明治四四年〜同四五年)

(徳川家)

縦 一

*万松寺は高原院(初代藩主徳川義直の御簾中春姫)の菩提寺。

尾四一三七 万松寺御宝蔵御供養留

(明治三年〜同六年)

社寺掛

縦 一

尾四―三七 高原院様御靈屋移転書類 (大正二年―同三年) (徳川) 縦 一

尾四―三七 御祭礼留 (明治三年―同一年) 社寺掛内家局 縦 二

* 東照宮御祭礼に関する留帳。

第一冊 御祭礼留 (二) (明治三年―同四年) 社寺懸内家局

第二冊 (御祭礼留) (二) (明治五年―同一年) (徳川) (社寺掛内家局)

尾四―三七 御代々様御法事留 (明治四年―同七年) 内家社寺掛 縦 一

* 一〇代当主徳川齊朝、一二代当主徳川齊温、一二代当主徳川齊莊、一三代当主徳川慶藏等歴代当主、および一族の御法事留。

尾四―三七 貞慎院様御逝去一卷 御中陰御法事共 明治五年 一 等家従 縦 一

* 「貞慎院様御事柄」一卷 「貞慎院様御逝去」一卷 「御中陰御法事」一卷 「御遺物被下」 「女中御片付」等の項目あり。貞慎院は二代当主徳川齊莊の御簾中猶姫のこと。

尾四―三七 御神殿御造営一卷 附り御祭典 (明治六年―同八年) (徳川家) 縦 一

* 中表紙に「御神殿御造営御祭典」一卷とあり。「尊霊神御逝日録」「御庶男女尊霊名簿」等あり。

尾四―三七 尊霊御逝日録 御家廟恒例祭祀 神殿創立遷座御次第 (明治六年―同七年) (徳川) 縦 一

尾四―三七 御神殿御拜式御拜日極 両社御祭典共 (明治七年) (徳川家) 縦 一

* 「年内御神殿御拜式等伺頭書」「御神殿御拜式等伺」「御神殿御拜日」「秋葉社稲荷社年中御祭典伺」「御参詣御名代御定」の項目で構成。

尾四―二六 宗像社并拱社諸事留 (明治七年―同二年) 愛知縣 徳川邸 縦 一

* 「明治八年五月 宗像神社御祭典ニ付御備物并奉納物等勘定目録」「宗像神社御祭典」一卷 「御深井并財天由緒書」等あり。

尾四―二六 (大森寺本堂焼失ニ関スル書類) (明治七年―同八年) (徳川家) 綴 一

* 「出火ニ付願」「上地田畑券証願」「御仮屋造営願」の他、関連書状の綴じ込みあり。

尾四―二六 御法事御供養留 御靈前御備共 (明治八年―同二年) 内家局社寺掛 縦 一

* 「御代々様御始御法事振伺」あり。書付の貼り付け、綴じ込み多数あり。

尾四―二六 (宗像神社一卷) (明治九年―同一年) (徳川家) 縦 一

* 「明治十年十一月 宗像神社拝殿初新築簿 前田武崇初」「明治九年四月三日 拝殿上棟ニ付奉納物之記」「宗形神社諸入費簿」で構成。

番 号 表 題	年月日	作成者(差出)	形態・数量
尾四―二六 従五位様御墓拝一卷 晨若様御来縣	(明治九年〜同二六年)	御家扶	縦 一
*「明治九年九月二日 晨若様御参拝之記 新御邸」「明治十六年十二月二十四日 従五位様御墓拝一卷 御家扶」「明治十六年十一月 従五位様御出縣御入費調」等あり。			
尾四―二五 御祭典一卷	(明治七年〜同二五年)	(徳川家)	縦 一
*「御神殿御拜式并神饌之次第」「尊霊神祭日録」「歳末神殿御拜式伺」「義宜命御一周祭伺済ニ付取扱向下調」「御燈籠献納近衛隊人名」等あり。書付の括り付け、綴じ込み多数あり。			
尾四―二六 御神社建築書類	(明治二七年〜同二八年)	新築掛	縦 一
尾四―二七 女中部(屋)渡廊下新設書綴込	明治二九年	新築掛	縦 一